

中学部段階からの職業教育

今年度の中学部の取組について

中学部主事 齊藤舞子

1月28日(金)、中学部祭りを行いました。生活単元学習や総合的な学習の時間で取り組んできたことを学年毎にまとめ、校内でお世話になった先生を招待して発表を行っています。発表に向けて、内容や発表の仕方等を考え、話し合い、グループやペアを組みながら準備を進め、当日の発表も成功させることができました。「こうすれば良かった」「今度はこうしたい」などの反省はあるものの、皆達成感を感じ、これまで取り組んできたことを振り返り、表現することの大切さを実感できたのではないかと思います。この「考える」「話し合う(相談する)」「発表する(表現する)」活動は、様々な学習活動で行っています。生徒自身が、言われたままに行なうのではなく、「何でなんだろう」「どうしたらいいかな」などと考えることはとても大切なことです。自分なりに考えて決定し、実行していくことを通して将来の社会生活に必要な力を育てていきたいと考えています。以下に今年度の取組の一部を紹介します。

<特別活動～学部集会>

「きまりについて」～何のためにきまりはあるのか、きまりを守らないとどうなるのかクラスで考え、発表しました。

「レクリエーション」～限られた時間の中で学部のみんなで楽しめる活動についてアイデアを出し合って決定し、実行しました。担当学年はレクリエーションの準備、当日の司会進行を務めました。

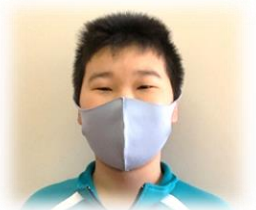


学部集会～「ここはどうか」
相談中

<保健体育～能代ベースボール>

「作戦タイム」～試合前にみんなで作戦を立て、「パスをつなぐといい」「守備位置はこうしたほうがいい」「打順はこうしよう」などアイデアを出し合い勝利に向けて話し合いました。残念ながら負けてしまったときも自分の役割を果たし、互いの頑張りを認め合う姿が見られました。

◇今年度、作業学習や進路学習を通してどのようなことができるようになったか、今後頑張りたいことはなにかインタビューしました。



中1 大高 佳汰さん

作業学習を通して、作業面ではしつけぬいのスピードが上がりました。態度面では、報告することの大切さが分かって、相手の目を見て報告できるようになりました。



中3 村上 優菜さん

職場体験では、仕事の内容を覚えることが大変でしたが、それが大事だと言うことが分かりました。挨拶の大切さも分かったので、これから職場体験で学んだことを活かしていきたいです。



中2 大塚 大地さん

2年続けた農園芸班の作業学習を通して、暑い日も寒い日も最後まで頑張る忍耐力がつかえました。季節によって違う野菜や花の育て方も学びました。リーダーを引き継いだので、これからは班全体をまとめられるようになりたいです。

寄宿舎の取組

寄宿舎では、寄宿舎生が日々の生活のなかで日常生活の習慣や社会生活技術を身に付けられるように、家庭や学校と連携した指導を行っています。

「生活のなかでの学習や練習」

「歯磨き」



「ひげそり」



「入浴(時間、順番)」



「洗濯」



「環境整備(当番)」



「就寝準備」



「衣類の整理」



「部屋清掃」



寄宿舎「進路学習会」

1月24日(月)に進路学習会を実施しました。寄宿舎生活を通して、卒業後の社会参加や社会自立のために、何を「今」から取り組むことができるか、具体的に考えるきっかけとなる学習会となりました。



学校や寄宿舎は将来に向けた学びの場です。
今からできることに取り組みましょう！

- ・集団の決まりを守る
(寄宿舎は生活の場ですが、自宅ではありません)
- ・寄宿舎の先生には敬語で話す
(目上、年上との話し方を身に付けましょう)
- ・日課に沿って自分で行動する
(やらないことはできるようになりません)

寄宿舎生からの感想

- ・将来に向けて、寄宿舎生活を毎日取り組みたい。
- ・言葉遣いに気をつけて、敬語で話すことを取り組んでいきたい。
- ・挨拶、返事、態度で印象良く思われるように努力したい。
- ・将来に役立つことがいっぱいあり、日常からやらないといけないことが改めて分かった。
- ・卒業に向けて、就職する際に言葉遣いや挨拶は本当に大事だと改めて感じた。私も卒業まで残りわずかなので、就職する前、した後も気をつけていきたいと思う。

学習会のあと、敬語で話す寄宿舎生が増えました。明日の自分をつくるため、「今」から取り組んでいます。

